

認知症疾患医療センター通信

入院について

認知症疾患医療センターでは、認知症になっても本人の意思が尊重され、認知症の方やそのご家族が地域で豊かに暮らしていけるように、活動を行っています。

認知症の方が地域で暮らしている中で、時には、認知症の状態や健康状態が不安定になるなどのため、生活が乱れ、一時的に入院して治療される方もいます。

今回は、認知症の方の入院相談についてです。

ご家族や施設職員、行政、他院など様々な方々からのご相談があります。

ご相談内容によっては、医療・介護サービスの導入や、対応方法の工夫などを、相談者の方とともに考えることもあります。

服薬しても、夜に全く眠らず、探し物をしているんです…

施設利用中。大声をあげたり他の方に手をあげてしまう…

(介護されているご家族が)私の方が疲れちゃって…

捨ててある物を集めている。止めると人が変わったように怒り、どうして良いか分からない…

入院治療が必要となった場合は、当院で入院をお受けしています。1-2病棟（認知症対応病棟）への入院をはじめ、病状によっては院内の他病棟を含めて入院を検討します。

1-2病棟（認知症対応病棟）

認知症の方への対応が熟練している
ナースステーションがオープンカウンターで開かれている
活動性・意欲などを維持する作業療法が活発に行われている
季節の飾りが充実していて季節感を失わない
快適な機械浴ができる
ご家族同士の交流がある
入院中はご家族が休息を図れる など

良いところ



お楽しみの
新年会

☆認知症疾患医療センター☆これからの予定☆

平成31年 2月27日

かかりつけ医認知症研修（第2回）

今後とも、ご協力の程、お願い申し上げます。

北多摩北部保健医療圏 薫風会山田病院 認知症疾患医療センター